

第4回 雑司が谷・歴史と文化のまちづくり懇談会 会議録

会議体名	雑司が谷・歴史と文化のまちづくり懇談会	
主管課	政策経営部政策調整担当副参事	
開催日時	平成21年10月28日(水)午後7時30分～午後9時00分	
開催場所	区民ひろば南池袋	
出席者	地域からの委員 (名簿順・敬称略)	南池袋一丁目町会会長渡辺氏、雑司が谷三丁目町会会長市川氏、光和会会長青木氏、雑司が谷一丁目町会会長戸張氏、柳下会会長石塚氏、雑司が谷二丁目町会会長清田氏、雑司が谷弦巻通り商友会会長矢島氏、鬼子母神西参道商店街会長川田氏、鬼子母神通り商店睦会会長建持氏、郷土史研究家矢島氏、豊島区の歴史と文化の研究「としま塾」代表委員伊藤氏、雑司が谷郷土玩具伝承会小池氏、法明寺住職近江氏、お会式連合会長武田氏、お会式連合相談役堀口氏、観静院住職高桑氏、並木ハウスオーナー砂金氏、南池袋地区まちづくりの会会長廣瀬氏、環状5の1号線沿道まちづくり協議会会長椎名氏、東京アーバンクリエイティブ21佐藤氏
	区の出席者 (事務局)	増田土木部長、小澤企画課長、栗原文化観光課長、澤田自治協働推進担当課長 (事務局) 政策調整担当副参事 齊藤
	区議会議員	磯一昭議員、渡辺くみ子議員
	コンサルタント	アネトス地域計画 上門、西、鈴木、江口
傍聴	1名	
会議次第	<p>○開 会</p> <p>1. 雑司が谷スピーチ③ 矢島勝昭 氏</p> <p>2. まちの回遊性向上について</p> <p>3. 並木ハウスアネックスの活用について</p> <p>○閉 会</p>	
会議経過	<p>《開 会》</p> <p>高野区長あいさつ</p> <p>矢島氏</p> <p>1. 雑司が谷スピーチ③ 矢島勝昭 氏</p> <p>矢島氏から雑司が谷を通過する鎌倉街道について、ルート、周辺の歴史的施設についての講演(約40分)</p> <p>(※「雑司が谷スピーチ」は、まちづくりを考える一環として、学識者等から雑司が谷にまつわるミニ講演をいただくもので、今回は4回目です。)</p> <p>区長</p> <p>矢島さんが作成されている郷土玩具を次の世代に引き継いでいくことについて、考えを伺いたい。</p> <p>矢島氏</p> <p>元禄かざぐるまは、地誌に言葉で載っているだけだったが、歌麿の絵にかざぐるまが描かれているのを発見して、それをもとに復元し、毎年鬼子母神に奉納している。麦わ</p>	

委員	<p>ら細工の角兵衛獅子は、長谷川雪旦の絵に小さく描かれていた。角兵衛獅子は新潟の月潟村が発祥の地であり、それらの資料をもとに復元した。かざぐるまについては作り方を小学校で教えたことがあり、子供達は作って遊ぶが伝承にまでは至っていない。麦わらの角兵衛獅子なども、近年は麦わらなどの材料集めが大変であり、どのように伝承していくかを考えていきたい。</p> <p>5年前に防災まちづくりのイベントを行ったとき、矢島さんが作られた「雑司が谷いろはかるた」を受け取った。当時、ビックリガードの落書き対策として、手塚治虫のキャラクターを「すいどーばた美術学院」の生徒に描いてもらおうと話を進めているときであったが、いろはかるたに出会い、これこそまちおこしであると言うことで、区と相談し、描く許可を矢島さんにいただき、立派なものできた。</p>
コンサルタント	<p>2. まちの回遊性向上について</p> <p>3. 並木ハウスアネックスの活用について</p> <p>●〈資料4-1〉まちの回遊性向上に向けた雑司が谷まちづくりの前提と回遊ルートの提案の説明</p>
齊藤副参事	<p>●〈資料4-2〉並木ハウスアネックスの一角を活用した新たな情報発信スペースの設置検討の説明</p> <p>●〈資料4-3〉前回の懇談会以降にいただいたご意見・ご提案の説明</p>
委員	<p>《質 疑》</p> <p>資料について、現在、雑司が谷保育園と区民集会室は一体になっているので、訂正をお願いしたい。</p>
齊藤副参事	<p>報告書における図面表記については、精査する。</p>
委員	<p>千登世橋は作った人の記念碑もあるが、下を通る明治通りや上を通る目白通りからもすばらしい景観的なスポットでもあり、地図上に表記してほしい。これから整備が進む環状5ノ1号線は、その沿道に新庁舎もできるので良い景観になると思う。</p>
齊藤副参事	<p>雑司が谷のマップ作成にあたっては、そこに一度は立ち止まって眺めてもらえるような景観スポットも表記するようにしたい。</p>
委員	<p>雑司が谷には寺社が多いが、マップに寺社があるという表記だけではなく、その寺を拝観できるのか、また、どのような見どころがあるのかを伝えることが重要である。鬼子母神通りには稲荷神社なども2箇所あるが、その由来がわかると良い。イベントなどをこれから行うことになるが、商店街は日曜日に休みの店が多く、できれば土曜日に合わせて行ってほしい。</p>
齊藤副参事	<p>雑司が谷の案内マップの作成にあたっては、地図に加えて、地図に掲載している個々</p>

	<p>のスポットの説明も充実させるようにしたい。</p>
委員	<p>「雑司が谷八景」のようなものをこの会で設定しても、売り物になるのではないかな。 また、先の話であるが、新庁舎ができた際には、観光バスの駐車場を確保してもらいたい。</p>
齊藤副参事	<p>「雑司が谷八景」については、魅力的なご提案であるので、みなさんのご意見をいただきながら、提案していきたい。観光バス駐車場については、検討課題とさせていただきます。</p>
委員	<p>矢島さんの話を聞いていて、「十月桜」を植えるという提案はすばらしいと思う。法明寺には多くの人がサクラを見に訪れる。また、いま区民ひろば南池袋の2本の木が枯れていて、植え替えを考えているので、「十月桜」を植えてはどうかと思う。</p>
齊藤副参事	<p>今回の懇談会までには、植え替えの時期の問題はあるが、「十月桜」の植樹について、関係者と調整した上で回答したい。法明寺境内への植樹の可能性を検討していただけないか。</p>
委員	<p>十月桜については、プランとしては魅力的だが、境内のどこに植えるか悩みがある。</p>
齊藤副参事	<p>ボランティアガイドの育成にあたって、テキスト作成に学芸員も参加するが、鬼子母神と法明寺が特に重要であるので、ご協力をお願いしたい。</p>
委員	<p>前回、区長が話された丹波の篠山市の話で、600人のボランティアガイドが地域の語り部として活動していると聞いたが、雑司が谷には、この地を愛し、語れる人も多いので、雑司が谷もそのようになれば良いと思う。</p>
齊藤副参事	<p>ボランティアガイドは、東京をはじめ、全国各地で数多くの取り組みがある。 ガイドからの一方通行の説明ではなく、おもてなしの心をもって聞き手と話し手のコミュニケーションをし、気持ちよく満足して帰ってもらうことが大切だと思う。</p>
委員	<p>先日、ボランティアガイドを、矢島さんの資料をもとに初めて行ったが、来る人の中には雑司が谷について基礎知識を持っている人もいた。寺には予約をしたので有効に時間を使うことができ、また魚のおいしい店があり、魚を買わない人は三角寛の旧宅を案内した。勉強会を行えば、うまくいくのではないかなと思う。</p>
齊藤副参事	<p>ボランティアガイドの養成については、豊島区が設置している「コミュニティ大学」の来年度の講座として、取り組むことを計画している。この懇談会の皆さんにも是非、ガイドとして参加していただければと思うし、自らの言葉で地域を語る経験は、職員にとっても心に残る経験であり、職員も参加したいと思っている。</p>

委員	<p>中央図書館では地域ゼミナールを行っており、終わると修了証を出している。テーマを決めて勉強をしているグループもあり、今年も発表会も行った。グループの中には、雑司が谷地域を勉強しているグループもある。ボランティアガイドについては、中央図書館、郷土資料館などで勉強している人をコアにして、活かして行ってほしい。</p>
委員	<p>先ほど配布した地図の小北勘助右衛門の住所は雑司が谷 2-9-9 に訂正をお願いしたい。</p>
委員	<p>ボランティアガイドについては浅草などでも行っており、見学してきたが、ボランティアガイドが常時そこにいるのか、申し込みを受けてからガイドに依頼するのか、実際の運営方法について十分検討する必要がある。</p>
委員	<p>回遊ルートを見ると、路地を利用するなど、応用編もあると思うが、雑司が谷は知名度がまだ高くないので、初心者入門編もあるとよく、選択・集中する部分と広げていく部分を考えていくと良いと思う。</p>
委員	<p>雑司が谷は南北軸が鎌倉街道で、東西軸が弦巻川である。その中心が鎌倉橋にあたる。南北、東西軸の中で展開されるいろいろなまちづくりについて期待をしている。</p>
齊藤副参事	<p><b>《閉 会》</b></p> <p>次回 11 月 26 日の懇談会では、来年度に向けて一定のまとめをしていきたいと思う。22 年度に宿題が残る部分もあるかもしれないが、来年度も懇談会を継続し、みなさんと話し合っていきたいのでよろしくをお願いしたい。</p>